

矩計図（かなばかりず）

よくあるミス&提出前チェックリスト

木造2階建て住宅を想定。印刷して、提出前に1つずつチェックしてください。

01 このシートで分かること

- 矩計図で減点されやすい「よくあるミス」12個と、その直し方
- 提出前に確認する31項目のチェックリスト（図面の基本～他の図面との整合まで）
- 平面図・断面図・立面図と食い違いが出やすいポイント

矩計図とは

建物の外壁まわりを縦に切り、基礎から屋根までの高さ、床・壁・屋根の材料や納まりを大きめの縮尺（1/20～1/50程度）で描いた図面です。断面図が「建物全体の高さ関係」を示すのに対し、矩計図は「その部分がどんな材料で、どう組み上がっているか」を示します。

02 よくあるミス12（1/2）

- 1 高さの基準があいまい
GL（地盤面）・1FL・2FL・軒高・最高高さのどれを基準に測ったかが書かれていない。基準線を引き、記号と寸法をセットで記入する。
- 2 基礎まわりの寸法が抜ける
根入れ深さ、基礎の幅、立上りの高さ、GLから基礎天端までの寸法がない。基礎は地面の下まで描き切る。
- 3 床の層の順番が違う
床仕上げ→下地合板→根太（または剛床）→大引→束→束石の順番や部材の向きが違う。切れている材と見えている材を描き分ける。
- 4 断熱ラインが途切れている
床・壁・天井（または屋根）の断熱材がつながっていない。赤ペンで断熱ラインを一筆でなぞれるか確かめる。
- 5 屋根勾配が書かれていない
屋根の傾きを「○寸勾配」や「○/10」で示していない。勾配記号（直角三角形）を屋根の上に入れる。
- 6 軒先・けらばの納まりが省略されている
鼻隠し・破風・雨どい・軒天の材料が描かれていない、軒の出の寸法がない。

02 よくあるミス12 (2/2)

- 7 雨仕舞の部材がない
土台水切り、サッシまわりの防水、透湿防水シート、通気層など、雨水を入れない・逃がす部材が描かれていない。
- 8 開口部の高さが分からない
サッシの内法高さ、窓台・まぐさの位置、床から窓下までの寸法が抜けている。
- 9 天井高・階高が書かれていない
CH（天井高）と階高（1FLから2FLまで）が記入されていない。2階床の厚み（梁せい+床組）も確認。
- 10 材料名・厚さの注記が足りない
引き出し線の先に「材料名+厚さ（例：石膏ボード ⑦12.5）」がない、引き出し線同士が交差して読めない。
- 11 線の太さが全部同じ
切断面は太線、見えがかりは中線、寸法線・引き出し線は細線、と描き分けていない。
- 12 他の図面と高さが合わない
軒高・FLが断面図・立面図の数字と違う。最後に3つの図面を並べて数字を照らし合わせる。

ワンポイント：数値は「課題の条件・先生の指示」が最優先

基礎の高さや天井高などの数値は、課題の条件・先生の指示・地域の決まりで変わります。このシートは「描き忘れ」を防ぐためのもので、数値の正解を決めるものではありません。

03 提出前チェックリスト (1/2)

■ 図面の基本

- ☐ 図面名・縮尺・作成日・氏名（学籍番号）が入っている
- ☐ どこを切った矩計図か、平面図に切断位置が示されている
- ☐ 室内側・屋外側が分かる
- ☐ 用紙の中で図面が偏らず、注記が読める余白がある
- ☐ 縮尺どおりの大きさに描けている（三角スケールで測って確認）

■ 高さ寸法

- ☐ GL・1FL・2FL・軒高・最高高さの基準線と記号がある
- ☐ GL～1FL、1FL～2FL（階高）、2FL～軒高の寸法がある
- ☐ 各階の天井高（CH）がある
- ☐ 寸法の合計が全体の高さと一致している（足し算で確認）

03 提出前チェックリスト (2/2)

■ 基礎・床

- ☐ 基礎の根入れ深さ・基礎幅・立上り高さが書かれている
- ☐ 捨てコンクリート・砕石・防湿シートが描かれている
- ☐ 床下の換気（基礎パッキンや換気口）が示されている
- ☐ 土台・大引・束・根太（または剛床）の順番と寸法が正しい
- ☐ 床仕上げ材と下地の材料名・厚さがある

■ 壁・断熱

- ☐ 外壁仕上げ→通気層→透湿防水シート→下地→断熱材→内装の順に描かれている
- ☐ 断熱材の種類と厚さが書かれている
- ☐ 床・壁・天井（屋根）の断熱ラインが途切れずにつながっている
- ☐ 内装材（石膏ボードなど）の材料名・厚さがある

■ 開口部

- ☐ サッシの位置と内法高さがある
- ☐ 窓台・まぐさが描かれている
- ☐ サッシまわりの水切り・防水が示されている

■ 屋根・軒

- ☐ 屋根勾配（○寸勾配・○/10）の表示がある
- ☐ 屋根材・ルーフィング・野地板・垂木の順番が正しい
- ☐ 軒の出の寸法、鼻隠し・破風・雨どい・軒天が描かれている
- ☐ 小屋組（母屋・小屋束・棟木など）または屋根断熱の構成が分かる

■ 注記・表現

- ☐ 切断面は太線、見えがかりは中線、寸法線は細線になっている
- ☐ 引き出し線が交差せず、注記の位置がそろっている
- ☐ 材料の表示記号（ハッチング）が正しく、凡例と一致している

■ 他の図面との整合

- ☐ 軒高・FL・天井高が断面図・立面図と同じ数字
- ☐ 窓の高さが立面図・展開図と一致
- ☐ 柱・壁の位置が平面図と一致

あわせて読みたい

断面図の描き方：<https://arch-task-hack.com/section-drawing-how-to/>

建築学生のためのサイト | 印刷して自由にお使いください（再配布・販売はご遠慮ください）